



経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から3175日原発再稼働糾弾!

第312号

編集・発行

テントひろば運営委員会

講演会 報告 山本義隆さん 2025年5月7日:衆議院第一議員会館:大会議室

「核発電の根本問題」を熱く語る!

5月の連休明けの先週7日(水)午後、私たち経産省前テントひろばは衆議院の第一議員会館大会議室をお借りして「核発電の根本問題～山本義隆著「核燃料サイクルという迷宮」～」と題した講演会を開催した。

この日は、昼から国会前で「インターネット監視・先制サイバー攻撃」法案に反対する集会が参議院会館前で、午後1時から日本学術会議「特殊法人化」法案に反対する学者・市民の会による講義集会が衆議院第2議員会館前でそれぞれ開催されていた。午後2時前、集会会場に講師の元・東大全共闘議長の子孫の山本義隆さんが到着され、定時に木村雅英さんの司会で開始された会場は半数以上の席が埋まり、阿部とも子議員(立憲民主党)の挨拶を受けた後、講演が始まる頃に参加者は160名を越えた。山本さんの講演は予定を超えて午後4時まで、「資源問題－高速増殖炉－核燃料サイクルとその現状－核のゴミの最終処分－科学技術と核のナショナリズム－潜在的核武装」と熱のこもった話が続いた。その後、4時半過ぎで参加者と山本さんとの活発な質疑応答が行われた。

なお、講演会の映像記録として、ユープランの三輪祐児さん作成のものが公開されています。

また、鹿砦社から発行されている<脱原発>季刊誌「季節」の次号に掲載される予定です。以下、講演会参加者の感想をいくつかをご紹介します。

☆

核のごみ、核廃棄物という言い方、止めませんか。実体は、人類が解毒手段を持たない永久毒物なのです。

かつて物理学者・武谷三男は、原発が毒と爆薬のかたまりだと言いました。原発の中にある水は1000℃位の温度になると燃料棒被覆管のジルコニウム Zr93 と反応し、水素と酸素に分解し、福島原発では水素爆発を起こした。このジルコニウムの半減期は161万年(核燃料サイクル開発機構が出した資料のグラフからの概算)です。使用済燃料の最終形であるガラス固化体(ウラン 233)の放射能は、80万年後に約5000倍になる。現在、日本には未処理の

使用済みの核燃料が2万トン保管されており、それは10万年の管理ではなく、本当は100年以上の管理が必要なのが事実です。

永久管理が必要なのは、アメリカ AEC の1955年9月の検討会で発表され、この論文はアメリカサイトから日本でも入手可能です。

(核物理の学習者)

☆

山本さんの話は、著書も事前に読んでいたので、期待通り、予想通りだった。十分理解できた。ただ、質疑応答において、山本さんの話を十分に聴いていなかったのではないと思われる質問や、核武装せずに他国と対抗できるのか、や、CO₂ 起源による温暖化を示す「科学的論証を示せ」というトンデモ論が出たことにはおどろいた。

(高橋 知文)

☆

複雑(からまりあい)かつ緊密(がんじがらめ)に構造化されている日本の原子力推進構造体を、どう壊し、その呪縛から抜け出すか－コレという単一の答え(=回路)がある訳ではないだろう。アッチコッチで、それぞれ小さなホコロビを見つけ出して、それをアッチコッチで押し開けていくことで構造全体の機能不全をつくり出していかないだろう。

例えば、所謂各”原発現地”で眼の前の原発建設阻止・再稼働阻止を一つずつ積み重ねていくとか…。では、東京では何をすべきか。一番気になるのは、政府の姿勢以上に首都圏の大半の人々が首都圏の電気が原発に依存してきたことの自覚のないことこそ、大問題だと思います。

(桑原 正史)

☆

経産省前テントひろば主催でこんなステキなイベント、ありがとうございました。私のブログで「原発／経産省前テントひろば」等で検索してみてください。洲上さんの写真もどこかにあったように思います。テントの写真も少ないですが載っています。毎日の座りこみ等、たいへんだと思いますが、皆さんの運動を応援しています。

(守良 詩乃:ブログ名)

経済産業大臣 武藤容治様・経産省の皆様

資源エネルギー庁長官 村瀬佳史様 資源エネルギー庁の皆様

編集後記

原発推進政策を考え直してください。

2025年4月22日 経産省前テントひろば有志

ご存じと思いますが、私達は2011年3月11日に起きた福島原発事故の後の9月11日からテントを張って原発反対を訴えていました。その後テントは撤去されましたが、経産省前に椅子を運び雨の日も風の日も原発反対を訴えて座っています。

一銭の得にもならないのにお金と時間をかけて座っているのは何故だとお考えでしょうか？

それはひとえに私たちが原発を動かしてはいけないと思うからです。

第7次エネルギー基本計画を決める際にはパブリックコメントで原発反対の意見がたくさん寄せられたにもかかわらず、既設炉の最大限活用を決めてしまいました。

反対意見を無視したエネルギー基本計画は納得できません。

1) 原発は安全ではありません。

原子力の活用にあたっては、安全性の確保が大前提であり、「安全神話」に二度と陥らないとの教訓を肝に銘じなければならぬ。また、原子力の安全性やバックエンドの進捗に関する懸念の声があることを真摯に受け止める必要がある、とありますが真摯に受け止めているとは思えません。

また原子力規制委員会の専門的な判断に委ね、東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて策定された新規制基準に適合すると原子力規制委員会が認めた原子力発電所についてのみ再稼働を進めるそうですが、原子力規制委員会は審査をするだけで安全だとは言っていない。

既存の原発は老朽原発が多く事故を起こす危険がいっぱいです。地震の多いこの国ではまた何時事故が起こるか判りません。事故が起こってからでは遅いのです。

福島の事故を反省してとの文言もありましたが、14年経ってもいまだに帰還できず辛い思いをしている避難者も多くいます。甲状腺がん・その他の癌も他県に比べて多くなっています。

2) 原発はCO2削減の役には立ちません。

発電の際はCO2を出さないかも知れませんが

原発を動かすためのウラン燃料発掘から安全対策工事他など色々のことで大量のCO2を排出します。

3) たまり続ける使用済み核燃料の処理が出来ません。

六ヶ所再処理工場は完成の見通しも立っていませんし、NUMOが探している最終処分場もなかなか見つかりません。日本には安全に地下処分出来る場所はないという科学者も多くいます。

これ以上核のゴミを増やさないためには原発をやめることです。

4) 原発を動かすことによって被ばく労働者が生まれます。

白血病や癌に侵されても労災に認定されないで苦しんでいる人もいます。

また被曝しながら懸命に廃炉作業をしている人のことを考えてみて下さい。

5) AIデータ・センタ増設などで電気の需要が増えることについて

省エネのデータ・センタも出来ると聞いています。省エネを考え再生可能エネルギーの活用で需要に対処することを考えて下さい。

以上のことをお読みになり原発が本当に必要かどうか真摯にお考えくださる様よろしくお願いします。

連絡先 経産省前テントひろば

乾 喜美子

・7日(水)に開催された講演会には多くの皆様にお集まりいただき、山本義隆さんのお話を伺いました。彼の書籍「核燃料サイクルという迷宮」は、核ナショナリズムがもたらしたものであるように、戦後80年を数える今の時代に軍事・民生を問わず広く「反核」の意志を統合して運動を継続するうえで重要な論点を歴史的な分析から導いています。本書はみずず書房から昨年発行され、既に3刷まで出版されたものです。

・9日(金)の経産省前では、テントひろば主催の抗議行動が行われ、「あったかフードバンク大泉」で活動しながら、毎回の行動で反核ソングを歌う女性から、「米が買えない状況、フードバンクが継続困難だ」と、支援の訴えがありました。米が高騰して入手できないというのです。あたたかいご支援を!!!

・翌10日(土)には原子力行政を問い直す宗教者の会や宗教者核燃裁判で活躍されてきた内藤新吾さんが、東京府中で「原発政策の理由と、あまりに恐ろしい実情」と題する講演をされました(主催は文明フォーラム)。電気のために原発は必要でない、世界は再生可能エネルギーが主流になっている、地震大国に核燃料サイクル事業は異常な状況、それを殆どの日本国民に知らされていない中、原爆投下から80年という節目で私たちが共有すべき視点と方向性を確認しました。詳細は彼の著書「原発問題の深層」(かんよう出版)をお読みください。

・17日(土)午後2時から、新宿駅東口アルタ前で「復帰53年を問う:琉球弧を戦場にさせない」行動が予定されています。主催は「沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック」、3時からデモ行進、4時から具志堅隆松さんの講演会が予定されています。...5月31日(土)には夜19:15より、映画「天才スピヴェット」(ジャン=ピエール・ジュネ監督)が都立武蔵野公園内・くじらやま周辺で開催される「はけの森:映画祭」で上映されます。

この映画祭では、午後2時からくじらやまワークショップ、16:30から夕暮れライブと続きますが、夜の映画鑑賞も含めて参加費は無料です。是非、お出かけください。(EO)

集会・行動予定

◆5月14日(水) 12時~13時

原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)

◆5月16日(金) 17時~18時

経産省前抗議集会(毎週金曜)

主催:経産省前テントひろば 経産省正門前

◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12時~16時(月~木)、13~17時(金)、土・日・休日:12時~15時◎

◆ 同日 原発いらない金曜行動(首相官邸前)

18時半~19時45分

主催:原発いらない金曜行動・実行委員会

◆5月21日(水) 福島原発被害東京訴訟 第2陣

東京地裁 103号法廷 10:00~16:30

◆5月25日(日) 12時~15時

青空川柳句会 経産省前テントひろば

◆5月28日(水) 14時~15時半

日本祈禱団 47士による経産省前祈禱会

＜経産省前テントひろば＞

住所:〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F

・電話:070-6473-1947

・郵便振替口座=00160-3-267170

・口座名義=経済産業省前テントひろば

WEB: <http://tentohiroba.tumblr.com/>

Mail address: tentohiroba@gmail.com